

2024年4月25日

産業別四半期見通し調査結果 (2024年4～6月期見通し)

■長野県産業天気図

◇2024年1～3月期の現況

- 全12業種中、「薄日(順調)」が3業種、「曇り(普通)」が6業種、「小雨(低調)」が3業種となった。

◇2024年4～6月期の見通し

- 見通しは、「薄日(順調)」が3業種、「曇り(普通)」が6業種、「小雨(低調)」が3業種となった。方向感では、「やや上昇」が1業種、「横ばい」が11業種となっている。

天気図記号	2023年 10～12月期現況	2024年 1～3月期現況	2024年 4～6月期見通し
 晴れ(好調)	0 業種	0 業種	0 業種
 薄日(順調)	3 業種	3 業種	3 業種
 曇り(普通)	7 業種	6 業種	6 業種
 小雨(低調)	2 業種	3 業種	3 業種
 雨(不調)	0 業種	0 業種	0 業種

■4～6月期見通しのポイント



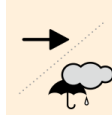


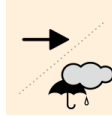


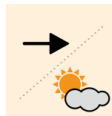


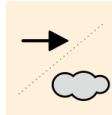


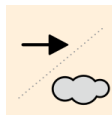


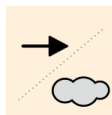


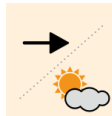


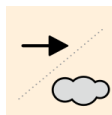


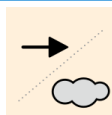


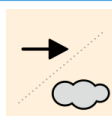


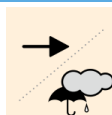

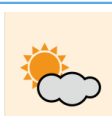
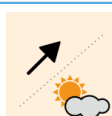
- 製造業、非製造業ともに天気図は変わらない見通し。


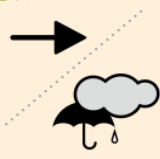
照会先
一般財団法人 長野経済研究所
調査部(担当: 桑井、中村)
TEL: 026-224-0501







<産業別天気図一覧(12業種)>



- 調査内容:業界の「現況」、「見通し」は、県内の企業経営者が業界の景気をどうみているかについてアンケート調査とヒアリング調査をした結果を基に、当研究所が判断した。
- 調査期間:2024年3月中旬～4月上旬
- 調査回答企業:県内主要企業12業種の112社


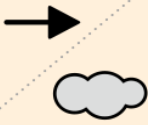
業種	前期 (23年10～12月期)	今期 (24年1～3月期)	来期 (24年4～6月期)
生産用機械			
電子部品・デバイス			
自動車部品			
飲料製造			
食料品製造			
機械器具卸			
大型小売			
自動車販売			
公共工事			
民間工事			
貨物			
観光			


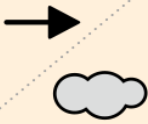
生産用機械	自動車関連やIT関連を中心に受注は引き続き低調
<p>● 現況</p> 	<p>生産用機械の受注は、自動車関連ではバッテリー式電気自動車(BEV)の伸び悩みや一部完成車メーカーの生産・出荷停止などの影響から、設備投資への慎重姿勢が引き続き低調だった。また、IT関連ではPCやスマートフォン向けの半導体需要の低迷が続き、受注は低水準となった。今後も、自動車関連、IT関連を中心に受注は低調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工作機械の受注は、国内の自動車関連では部品メーカーを中心に慎重な投資姿勢が引き続き弱含む見込み。海外は、中国向けでは景気減速の影響やIT需要の低迷、BEV需要の鈍化などから低調な見通し。一方、北米向けは自動車関連を中心に堅調となる見込み。 ● 半導体製造装置の受注は、IT関連の半導体需要の低迷が続き低水準となる見通し。


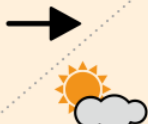
電子部品・デバイス	産業用やIT関連の受注が低調
<p>● 現況</p> 	<p>電子部品の受注は低調だった。車載用は半導体不足が解消し完成車メーカーの生産が回復したことから堅調に推移した。一方、半導体製造装置向けといった産業用やPC・スマートフォン向けなどのIT関連は、中国景気の減速による需要の減少やIT需要の低迷などから低調だった。今後も産業用やIT関連で引き続き受注は低調に推移するとみられ、在庫調整局面は継続する見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 産業用やIT関連は、中国景気の減速に伴う需要の減少などから、受注は低調に推移する見通し。 ● 車載用は、完成車メーカーの生産が底堅く推移することから受注は堅調な見込み。


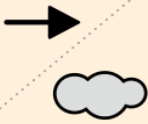
自動車部品	新車需要は底堅いとみられ、受注は順調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>一部完成車メーカーで生産・出荷停止があったものの、車載用の半導体不足が解消し、その他の完成車メーカーの生産が増えたことで総じて受注は増加した。今後も完成車メーカーの生産は底堅く推移するとみられ、国内・北米向けを中心に受注は順調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内・北米向けは、スポーツ用多目的車(SUV)などの新車需要が底堅く受注は順調な見込み。 ● 中国向けは、バッテリー式電気自動車(BEV)やプラグインハイブリッド車(PHEV)の販売シェア拡大が進む中、ガソリン車を主体とする日系完成車メーカーの販売が伸び悩むことから受注は低調な見通し。また、東南アジア向けは、景気の減速や自動車ローンの金利高止まりなどを背景に需要に弱さがみられ、受注は低調となる見込み。


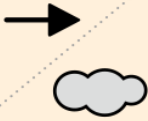
飲料製造	人の移動が回復し、飲料需要は堅調に推移する
<p>● 現況</p> 	<p>飲料需要は、ビジネスや観光による人の移動が回復したことから堅調に推移した。今後も、人出の増加が見込まれ、観光や外食向けなどを中心に需要は底堅く推移する見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 果汁・野菜飲料などの清涼飲料は、国産原料を用いた安心・安全な飲料への需要があり、受注は堅調に推移する見込み。そのうち果汁飲料は、前年の天候不順から国産原料の供給不足により、生産は例年を下回る見込み。 ● 清酒やワインなどアルコール飲料は、会合や宴会の機会が増加するとみられることから、飲食店向けを中心に受注は堅調に推移する見通し。また、原材料や包装資材などコスト上昇分の販売価格への転嫁が進み、収益は改善するとみられる。


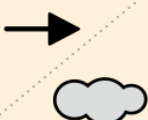
食料品製造	コスト上昇により収益環境が厳しくなる見込み
<p>● 現況</p> 	<p>家庭用需要は、調理が簡便な製品や健康志向の製品を中心に堅調だった。また、人出の回復により、宿泊施設や飲食店向けなど業務用の需要も底堅かった。今後も家庭用・業務用とも需要は堅調に推移する見通し。ただ、輸入原材料や電気料金などのコスト上昇が見込まれ、収益環境は厳しくなる見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 味噌やスープなどは、即席味噌汁やフリーズドライなどを中心に底堅い受注を見込む。 ● 加工肉などは、無添加製品を中心に家庭用が堅調な見通し。 ● 油揚げ・ソースなどは、人出の回復により外食向けの受注が堅調な見込み。 ● コンビニ向け弁当・惣菜などは、価格上昇による買い控えがみられ、受注は弱含む見通し。


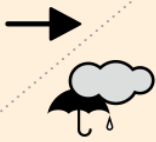
機械器具卸	機械需要は低調ながら、建設・電設資材需要は順調を維持
<p>● 現況</p> 	<p>機械需要は、自動車関連で投資を手控える動きが続いたほか、IT関連では半導体需要の低迷が続き、総じて低調だった。一方、建設・電設資材の需要は民間工事中心に順調だった。ただ、電設資材のうち電線ケーブルは商品不足により納期が長期化した。今後も投資への慎重姿勢から機械需要は低調が見込まれる一方、建設・電設資材の需要は順調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工作機械や制御機器などの機械需要は、投資への慎重姿勢が続くとみられ低調な見込み。切削用工具類などの消耗品受注は、自動車関連を中心に底堅い見通し。 ● 建設・電設資材の取扱量は民間工事中心に安定した工事量が見込まれており、順調な見通し。また、電線ケーブルは供給量の増加により不足状況が緩和するとみられる。


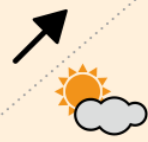
大型小売	価格転嫁が進み、売り上げは増加する見通し
<p>● 現況</p> 	<p>客数の増加や価格転嫁の進展などにより全体の売り上げは増加した。衣料品の売り上げは寒さの影響で春物の出足が鈍く低調だったが、食料品は好調だった。今後も、客数増加や価格転嫁が進むことから売り上げは増える見通し。また、人手不足の影響による人件費の上昇がみられるものの、売り上げの増加に伴い収益面の厳しさは和らぐ見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 百貨店は、物価高などの影響から衣料品は伸び悩むとみられるが、食料品や靴・バックなどの身の回り品、化粧品は売り上げ増加が見込まれ、堅調な見通し。 ● スーパーは、価格転嫁の進展に伴う販売価格の上昇が見込まれ、食料品や日用品などの生活必需品を中心に売り上げは増加する見通し。

自動車販売	中古車の需要が高まり、自動車販売は堅調に推移する
<p>● 現況</p> 	<p>一部国産車メーカーの生産・出荷停止による納車遅れの影響から新車の販売台数は前年を下回ったが、中古・輸入車の販売は底堅く推移した。今後は、一部メーカーの生産・出荷の再開により納車遅れが徐々に緩和していくものの、新車が全般的に高額化しており販売は伸び悩む見込み。一方、中古車の需要は底堅く、自動車販売全体では堅調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新車販売は、安全性能や環境性能が高い車種を中心に需要は底堅いが、車両の高額化に伴い販売台数は伸び悩む見通し。 ● 中古車販売は、新車に比べた割安感から需要が高まり堅調な見通し。 ● 輸入車販売は、モデルチェンジ車を中心に底堅く推移する見込み。

公共工事	インフラの長寿命化修繕工事などで安定した工事量を見込む
<p>● 現況</p> 	<p>三遠南信自動車道に関連した大型工事や国土強靱化計画に伴う防災・減災工事などにより、堅調な工事量となった。今後、一部の工事で人手不足による入札の不調が予想されるものの、インフラの長寿命化修繕工事を中心に、安定した工事量を維持する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国では、三遠南信自動車道関連の大型工事や国土強靱化計画に伴う防災・減災の土木工事などの継続により、堅調な工事量が見込まれる。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県では、河川の砂防工事や治山工事に加え、道路や橋梁の長寿命化修繕工事などにより、底堅い工事量となる見通し。 ● 市町村では、道路や施設の整備を中心に、安定した工事量が見込まれる。

民間工事	企業の建設投資を中心に堅調な工事量を見込む
<p>● 現況</p> 	<p>民間企業の建設投資は、工場の新增設を中心に、底堅い工事量となった。一方、新築住宅は、分譲マンション等の需要は底堅いものの、資材価格を中心とする建設コスト上昇の影響から注文住宅の需要が減少し、総じて着工戸数は低調だった。今後も建築コストの上昇は続くと思われるが、企業の建設投資意欲は強く、堅調な工事量が見込まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 民間企業の建設投資は、社屋や工場などの新增設・移転の動きが見込まれ、安定した工事量を維持する見通し。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅関連は、分譲マンションや比較的安価な建売住宅の需要は堅調だが、建築コスト上昇の影響による注文住宅の需要減少から、着工戸数は引き続き低調な見込み。

貨物	貨物量は海外向けの工業製品を中心に低調
<p>● 現況</p> 	<p>総じて低調な貨物量となった。食品や雑貨類の荷動きは概ね堅調だったが、工業製品は自動車関連の落ち込みや海外需要の鈍化を背景に低調だった。今後も工業製品は海外向けを中心に弱さが続くと思われるが、全体の貨物量も低調な見通し。業界では「2024年問題」への対応に伴う運賃引き上げ交渉が進んでいるが、引き上げは一部にとどまり、燃料費や人件費等の増加分を補う価格転嫁に至らない事業者も多い。今後も厳しい収益環境が続くと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工業製品では、自動車部品の貨物量は緩やかな回復を見込むが、生産用機械や電子部品は中国など海外向けの輸送が弱含み、総じて低調な荷動きとなる見通し。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品や雑貨類は、物価高に伴う買い控えの動きもみられるが、安定した貨物量を見込む。

観光	春の行楽シーズンを迎え、国内外の観光需要は順調
<p>● 現況</p> 	<p>スキー場周辺地域を中心に、コロナ禍以前を上回るインバウンド需要がみられ、利用者数は増加した。一方、人手不足の影響によりバスやタクシーの稼働率は伸び悩んだ。今後は、宿泊・旅客とも修学旅行等の団体利用が増えるほか、日並びの良い大型連休を中心に山岳観光や北陸新幹線の福井延伸などに伴う需要も見込まれ、利用者数は増加する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 旅客は、行楽シーズンを迎え修学旅行やバスツアーなどの高速バス・貸し切りバスを中心に需要増加が見込まれるが、人手不足に伴う機会損失が懸念される。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 宿泊施設は、花見や山岳方面の観光需要が底堅く、国内客に加え旺盛なインバウンド需要を見込む。ただ、旅客同様、人手不足による供給制約が課題となる見込み。